

学会通信

第14号

会員の皆さまへ

理事長 米山文明

桜花の候、皆様ご清栄にご活躍のこととお慶び申し上げます。学会通信第14号をお届けします。

新役員年度になって約1年になろうとしています。今期に入って執行部の活動方針を若干変えてみましたが、それにつきましての功罪を含めて、学会行事の経過をご報告いたします。

この2年間ほど、それまで例会会場として借用しておりました東京芸大が、校舎の大修理のため使用できず、皆様大変ご迷惑をおかけしましたことをまずおわびいたします。しかも使用可能か否かが直前まで不確定（芸大事務の事情で）でありましたことも学会として困惑しておりました。幸い平松英子理事のお骨折りもあって、20年5月例会から借用可能になりました。今後ともよろしく願いいたします。

学会本部の運営といたしましては、理事会のあり方を少し変えました。各理事がそれぞれの本業が劇務のこともあり、時間的、距離的にもロスが多いことも考慮し、定期的に集まるのを止めて理事会の回数を減らしました。従来毎月であったのを原則的に隔月に減らし、その代わりに各委員会別の会合を増やしました。そして委員会活動を中心に随時懸案事項を検討していただき、理事会に報告、決定する方式にしまし

た。さらに各委員会の構成メンバーも従来はほとんど理事だけであったのを、委員長には理事が入っていただき、他の委員は全会員の中から、あるいは外部からも有能な専門家に参加していただけることも加えました。

この結果、着々と成果を上げつつあります。たとえば用語委員会を充実させ、小林武夫委員長を中心として専門別に3つの分野（音楽…山田、解剖生理…小林、音響物理…河合の他、各理事が分担）で作業進行中です。また、ほかに藤木暢也、林律、加藤友康、竹田教章各会員に加わっていただいております。各分野とも未完成なので詳細は後日ご報告します。

教育部会も小川理事をチーフにして、佐々木、池田、平松、永井各理事が健闘中です。

これまで永井理事が中心になって活動されてきた多くの資料を土台にして、さらに発展拡充したものを著作にまとめて出版すべく、現在小川理事を中心に検討中です。

演奏部門でも会員諸氏は活発に活動されており、私の知る限りでも、佐々木正利、池田京子、川村英司、宮原卓也、淡野弓子、平松英子各氏など、めざましい活躍、きわめてユニークな演奏をしておられます。ほかにも会員諸氏のすぐれた研究発表が多くあると思います。私の知り得た情報の一端を紹介しましたが、皆様も本通信を十分活用されて、活動状況を会員にお知らせください。

理論的研究発表も、近く発刊される学会誌36号に投稿されている会員の方々の論文や、新入会員の豊田喜代美氏と藤波努氏の独創的なすぐれた論文（博士論文の一部）など、充実した内容のものが出てきたことは、本学会の発展に大きく寄与するものと喜んでおります。

来る8月の夏季研修会は、久しぶりに東京を離れて、御殿場で行います（一泊二日）。軽井沢のときのようなコンサートや懇親会も持たれると思います。例会のあり方にも一工夫したいと考えてお

ります。

会員の皆様からどうぞ忌憚のないご意見や、新しいご提案などお寄せください。

今後の学会の発展と、会員のみなさまのご健康と益々のご活躍を祈念して！

【Q&A】

小林武夫

Q 喉頭という語に、何故「頭」がついているのか。

A 江戸時代（安政3年、1774）に「解体新書」がオランダ語（Ontleedkundige Tafelen、1734）から翻訳出版されたとき、オランダ語の *strottehoofd* (*strotte* のど、*hoofd* 頭) を喉頭とした。この本は、ドイツの Johann Kulmus の書いた *Anatomische Tabellen* (1722) のオランダ訳なのである。ドイツ語で喉頭は *Kehlkopf* (*Kehl* のど、*Kopf* 頭) であるから、喉頭はドイツ語からの重訳ということになる。

「解体新書」の訳者として杉田玄白ばかりが有名であるが、彼はオランダ語があまりできなかった。ただし、翻訳と出版という事業ではプロモーター的な働きをした。翻訳の早期出版のためには、細瑾を顧みない主義だった。

実際の翻訳は、前野良沢なしではまったく不可能であった。彼は語学の天才であった。しかし、一面学者肌の人で、翻訳が完成したとき、それが完全なものではないとして、自分の名が本に出ることを拒んだ。この後どうなったか。

「解体新書」は出版されて、杉田玄白は江戸で門前市をなす流行医となり、将軍にもお目見えした。一方、良沢は家にばかり閉じこもって書物に夢中になる時間が多かった。患者の診察は好きでなかったのかもしれない。「蘭学に志を立てたのは、ただ学問のためで、それにより名を売ろうとか得をしようということではない」と述べたという。

この良沢の語学力をもってしても「解体新書」の緒言の訳文には誤訳があることに気づく。「ドイツ語からの訳である」とオランダ語原文にあるのに、これをまったく理解していない。

喉頭と訳した *Strottehoofd* につき、オランダのロッテルダム大学の友人 Dr. Knecht が東大に4ヶ月勉強に来たとき、何故、*hoofd* (頭) をつけるのかと質問してみた。彼曰く、この場合 *strotte* (のど) の「端」という感覚だという。中国では、喉頭は「喉」の一字ですむ。

日本声楽発声学会主催コンサートと オーディションのお知らせ

本学会主催コンサート「歌曲とアリアの夕べ」を下記の日程で開催いたします。

・日時 2008年10月22日(水)

開演 19時(予定)

・会場 文京シビック(小)ホール

東京メトロ丸の内線後楽園駅下車徒歩1分
東京メトロ南北線・都営三田線春日駅下車
文京シビックセンタービル接続

このコンサートは、会員の皆様の日ごろの研究発表の場として開催するものです。どうぞ奮ってご参加ください。

なお、コンサート出演希望の方は、下記の要領でオーディションを行いますので、事務局へお申し込みください。

《オーディション》

・日時 2008年7月19日(土)午後1時より

応募者各自には、後日詳細を通知します。

・会場 日本大学芸術学部音楽学科

オペラ研究室

練馬区旭丘2-42-1

西武池袋線江古田駅下車

・曲目 歌曲・アリア(歌曲とアリア、
歌曲のみ、アリアのみも可)

- ・演奏時間 6分以内
- ・申込締切 7月10日(木)必着。
- ・応募審査料 5,000円
- ・伴奏者 同伴のこと。ただし、学会に依頼する場合は、応募時に事務局に申し出てください。
- ・申込方法 お名前、連絡先、曲目、演奏時間、伴奏者を明記の上、事務局あて郵送またはFAXで。

川村英司(日本フーゴ・ヴォルフ
協会理事長、本学会理事)

(2)質疑応答

- C 15:10~16:00 ディスカッションとまとめ
- 4、会費 2,000円 下記郵便振替口座に5月20日までに納入してください。
- 郵便振替 00170-0-119920
日本声楽発声学会

《コンサート出演に関して》

- ①入場券(1枚3,000円)を出演者に30枚差しあげます。
- ②演奏会運営費として、50,000円を本学会に納めてください。
- ③伴奏者は、原則として同伴のこと(自己負担)。

第8回教育部会開催のご案内

- 1、とき 平成20年5月24日(土)
10:30~16:00
- 2、ところ 東京文化会館4階 会議室
JR上野駅公園口下車
- 3、プログラム
- A 10:30~12:00 音声生理学講座
呼吸と発声の基礎をどのように教えるか
——指導の実際
講師 米山文明(米山耳鼻咽喉科院長、
本学会理事長)
中山雅夫・秋本径人(会員)
- B 13:00~15:00
- (1)パネル・ディスカッション
音楽大学に於ける声楽教育の諸問題
入学試験及び入学直後に焦点を当てて
司会 永井和子(大阪音楽大学名誉
教授、本学会理事)
パネリスト 三林輝夫(東京芸術大学名
誉教授、本学会相談役)

夏季研修会開催のお知らせ

8月21・22日に「YMCA 東山荘」(静岡県御殿場市)に於いて開催します。

21日午後は、合唱講座、講師は松原千振氏。
夜は公開レッスン、講師は豊田喜代美氏。

22日午前中は、コンサートです。交通の便もよく、新宿・東京駅より高速バス・ロマンスカーで2時間弱。関西方面からは静岡乗り換えが便利。高原での一泊二日の研修会です。

[海外だより]

川村英司

2008年度の定例ドイツ連邦声楽教師連盟 Bundesverband Deutscher Gesangspädagogen 第20回年次総会が、ライブチツヒで4月4~5日に開催され渡欧しています。今年のテーマは「世界の歌」です。

アメリカのゴスペル、アジア、アフリカの民俗音楽等について、演奏、学習、講演が行われます。ほかにも5日には、

- ・Belcanto und deutsche Sprache
ein Widerspruch? Prof. Elio Battaglia
6日のマスタークラスでは、
- ・Das Lied der deutschen Romantik
Ks(Kammersaenger) Prof. Peter Schreier
といった講座などもあります。
また、フライブルクの音楽大学で、4月18、

19日の両日、「歌声と話声」についての公開セミナーが開かれます。こちらは主に医学的視点からのテーマでプログラムが構成されているようです。いくつか紹介すると、18日は、

- Was macht den Stimmprofi zum Profi:
Physiologische Grundlagen
Prof. Dr. med. Bernhard Richter
- Was ist "Belcanto"?
Prof. Dr. phil. Thomas Seedorf

19日には、

- Die professionelle Stimme am Beispiel
der Lehrestimme
Prof. Dr. med. Berit Schneider
- などがあります。

[会員だより]

◆講演◆

米山文明理事長は、下記講演のために渡欧。

- 2008.4.10 (スイス、バーゼル)
Basel 大学医学部で音声言語障害部門の
doctor 達と音楽学校の声楽家達に講演。
- 2008.4.18 (ドイツ、ミュンヘン)
第1回「呼吸と発声」国際会議で招待講演。

◆出版◆

DVD (声の不思議) 1巻 米山文明 音楽之友社
DVD (声の発育—美しい声を育てるために) 1巻
米山文明 音楽之友社
「声の不思議」: 5,880 円、「声の発育」: 3,570 円

◆受賞◆

池田京子理事名古屋芸術賞
—芸術奨励賞—を受賞
池田京子理事は、名古屋市の芸術文化振興に

貢献し、将来の活躍が期待される個人や団体に贈られる名古屋市芸術賞—芸術奨励賞—を受賞されました(授賞式は2月4日)。

1990年に第1回名古屋市民芸術祭賞を受賞するなど、オーケストラとの共演、オペラ公演も積極的で大学でも熱心に後進の指導に当たっていることが、選考委員会において高い評価を得たことです。

4月16日には「心に響く日本の歌」の演奏会を、しらかわホール(名古屋)でセントラル愛知交響楽団と共演。

池田理事の主な研究課題は「音楽及び音楽基礎能力に関する研究」「ドイツリート of 楽曲研究とその演奏」ですが、大学での教育の用務や演奏活動等、いよいよご多用となる中で本学会の今後の発展のためにも、ますます貴重なお力添えをいただきたいと祈念するものです。

[お知らせ]

【Q&A】について。「学会通信」12号まで掲載したコラムを15号から【用語の栞】として設置し、用語委員会の各分担委員によって続けたいと考えています。分担は「音楽・声楽」「解剖・生理」「音響・物理」の3分野ですが、分野別に順に掲載できればと思案しています。

[事務局より]

◎学会誌37号、学会通信への投稿をお待ちしております。演奏会、出版、CD制作その他近況についても、どうぞ事務局までお寄せください。

事務局長 川上勝功

学会通信 第14号	平成20年4月20日
日本声楽発声学会事務局	
〒275-0005 習志野市新栄2-9-2 西村暁子方	
TEL./FAX. 047-479-5701	